

千葉県自然観察指導員協議会

2022 年度総会資料

<目次>

第 1 号議案	2021 年度事業実績	2～5P
第 2 号議案	2021 年度会計報告	6～7P
第 3 号議案	2022 年度事業計画（案）	8～9P
第 4 号議案	2022 年度予算（案）	10P
第 5 号議案	役員の改選について	別紙 1
協議会規約		別紙 2
参加者名簿		別紙 3

日時 2022 年 2 月 11 日(祝・金)

ZOOMによる

第1号議案 2021年度事業実績

◆総会

書面総会で実施し、3月20日を書面決議日とした。

参加148人、147人は全議案に賛成、議案3(事業計画)のみに反対1名

◆NACS-J 自然観察指導員講習会

10月23日(土) ZOOM 10月24日(日) 千葉市動物公園

参加者41名 千葉市在住20人 指導員10人

中央講師 佐野由輝(千葉) 勝山智男

1. 昭和の森定例観察会 <山下> 第2日曜日

実施回数 実施7回(中止3回)

参加者(総数) 大人83人 子ども31人 計114人 指導員18人

参加指導員 木下、坂本、和仁、佐藤(一)、武田、八木、伊藤、芳我、玉川、須田、梅宮、花島、平田、山下、晝間、小川、川北、萩

<振り返り>

2021年度はコロナ禍の観察会として3密回避で、指導員3名、参加者15名の申し込み制、指定管理者主催で実施しました。12月は感染者が減ったため20名申し込み制で実施しました。

2. 昭和の森親子田んぼ教室<山下>

実施回数 実施2回(4、6月) 9月中止

参加者(総数) 大人15人 子供13人 計28人 指導員3人

参加指導員氏名 萩、武田、山下、

<振り返り>

2021年度は参加者を20名程度とし、4月田植え、6月草取り編を実施、9月は緊急事態宣言で中止となりました。

3. 昭和の森特別観察会<川北>

カタクリ観察会

実施回数 3日間 3月26(金)~28日(日)

参加者(総数) 585人 指導員9人

参加指導員 伊藤、梅宮、坂本、竹内、武田、長江、藤田(隆)、山下、川北

<振り返り>

コロナ禍でのカタクリ観察会となりましたが、大勢の方々がカタクリを見に訪れていました。パンフレットや展示物を充実させ、来園者との距離をおいての観察会でした。

ゲンジボタル観察会

実施日数 2日間

参加者(総数) 1,155人 指導員10名

参加指導員等 川北、武田、玉川、萩、山下、伊藤 他3人

<振り返り>

参加者多数のため観察会というより鑑賞会が実態で、夜間のリスクを考えると課題が多い。協議会としてどう参加するのか十分な検討が必要と思われる。

4. 大草谷津田いきものの里自然観察会関連 <木下・岡田> 第3日曜日

実施回数 実施3回 4, 11, 12月 (中止8回)

参加者(総数) 大人24人 子ども17人 計41人 指導員9人

参加指導員 遠藤、岡田、金子、木下、戸村、西野、萩、晝間、松本

<振り返り>

緊急事態宣言・まん延防止措置下の中止7回、天候不順による中止1回と今年も思うようにいかない1年でした。少人数予約制の課題も見えてきており、次年度は、制約下においても最大限参加者を受け入れられるよう、千葉市の担当者さまと十分な対策・協議をしたいと思っております。

5. 東葛しぜん観察会<山口・三嶋>

①一般観察会、②研修会・研修観察会、③パークプロジェクト の3つの活動に分かれて、コロナ感染対策のため 一般向け観察会は2回の開催、会員向けの研修会・研修観察会は合計11回で Zoom オンライン研修会を開催。松戸市パークセンターとは自然観察講座6回の開催と小学校の校外学習は自然たんけんラリーで自然を体験する方式を6回実施。

東葛一般観察会

実施回数:2回 7・12月実施

参加者(総数) 74人 大人38人 子ども36人 指導員14人

<振り返り>

年初からまん延防止措置・緊急事態宣言が発出され コロナウイルス感染症に対処するため、2～11月の一般観察会は止めにして、会員向け研修観察会を実施、パークセンターとの共催による観察会などは参加人数圧縮でコロナ感染対策を講じて開催した。

東葛研修会・研修観察会

実施回数:研修会4回実施、研修観察会7回実施(会員向け活動)

参加者(総数):研修会の指導員77人、研修観察会の指導員105人

<振り返り>

2月と3月にパレット柏にて少人数の研修会にして 併せてオンライン研修会を開催し、後日会員に閲覧できるように配慮をした。7月からは一般観察会ができればよいとの意見であったが、感染状況と担当指導員の意見とを尊重して判断 結果的には11月までは研修観察会の開催となった。ソーシャルディスタンスを守り、参加者限定で感染防止対策を実施しながら観察会を行った。

パークプロジェクト(講座・小学校校外学習)

実施回数:講座6回実施、校外学習6回

参加者(総数):講座参加者 大人44人 子ども36人 指導員19人、

校外学習参加者 子ども512人 指導員54人

<振り返り>

21世紀の森と広場(松戸市)との共催事業は パークプロジェクトとして協議を進めており、自然観察おもしろ講座は2020年度分と2021年度4回に加えて 青少年会館からの子ども向け観察会依頼があり 計6回の講座開催であった。校外学習は松戸市内の小中学校からの依頼をパークが受けて 学年ごとで実施するため 人数が多くなり、自然たんけんラリーで自然を体験する方式で 多くの指導員の協力を得て実施しており、9月末から11月までの期間で6回の開催であった。

6. 行政関連

千葉市ふれあい観察会(千葉市環境保全課自然保護対策室)

担当 事務局

予定した2回が、いずれもコロナ緊急事態宣言により中止となった。

稲毛海浜公園自然観察会(千葉市美浜公園緑地事務所)

担当 事務局

実施回数 実施3回(中止1回)

参加者(総数) 大人41人 子ども44人 計85人 指導員11人

参加指導員 田島、平田(稚)、梅宮、伊藤、萩、藤田、鈴木(と)、盛一、中田

<振り返り> 住宅地に囲まれた地域で、自然に触れる機会を求める親子連れが大半のため、

参加者の期待が幅広く、自然観察会の内容、運営に工夫が必要だった。

成田市環境学習会(成田市環境計画課)

担当 事務局

実施回数 実施2回(中止2回)

参加者(総数) 大人24人 子ども7人 計31人 指導員4人

参加指導員 坂本、中村、谷、阪上、伊藤

<振り返り> 多くの申し込みがあったが、夏休み期間の親子生き物教室が2年連続でコロナ緊急事態宣言のため中止となった。熱中症対策も念頭に入れ、この時期の親子行事を定着させていきたい。

ちばの森遊び体験(千葉県森林課)

担当 晝間

実施回数 実施 1 回(12 月)

場所 大多喜県民の森

参加者 保育園児 24 人 保育士 5 人 指導員 6 人

参加指導員 晝間・尾澤・荘子・渡辺・横山・伊藤

<振り返り>森林環境税事業のためか、企画段階から現地打合せを繰り返し、終了後も報告書、実施プログラムなど数多くの資料提出を求められかなりの負担となった。

緑の募金による自然に親しむ事業(千葉県緑化推進委員会)

担当 事務局

実施回数 3 回(佐倉市、松戸市、茂原市)

参加人数 82 人

7. 研修関係 <米澤・前田>

実施回数 実施 1 回(12 月)

場所 千葉市生涯学習センター

テーマ 中央博物館環境研究科長 林紀男氏「池沼の水環境保全に果たす水草・ミジンコの役割

参加指導員 伊藤 浦部 梅宮 岡田敬 小川洋 勝股 小西博 鈴木と 須田 互井 高橋重 田島正 玉川 長谷川依 平田 晝間 藤田隆 前田 山口 山下 米澤 横山(協議会) 他 3 人 計 25 人

8. 企業・団体関連

2021 年度は、例年の連合千葉、イオンチアーズからの依頼がなかった。

9. SSN 関係 <八木・川瀬>

年間活動実績 (2021 年 1 月～12 月まで)

実施回数 41 件 (中止 16 件)、参加児童 2,187 人 指導員延べ 193 人、協力者延べ 99 人

※詳細は別紙「SSN 年間活動実績一覧表」のとおり

SSN 研修会

研修会に代わり、アンケートを実施した。学校からの依頼状況、実施に伴う調整過程、スタッフ分担、費用などの詳細をまとめたもので、しおかぜ 3 月号に報告予定である。

10. しおかぜ発行 <三嶋>

発行回数 6 回(208～213 号)しおかぜ 209 号～213 号の印刷・発送は外注

編集担当 高木 勝股 太田 三嶋

イラスト 木嶋 中坊 梅宮 中田、(木嶋さん 1 月、中坊さん 11 月で退任)

印刷・発送 東葛 G、四街道 G、昭和の森 G 船橋 G

しおかぜ印刷・発送の外注先:正文社(千葉市)に 209 号より外注依頼

しおかぜ合本を 2 月に制作:しおかぜ 151 号～200 号(第 7 巻&8 巻):正文社に発注

千葉県中央図書館、西部図書館、千葉市中央図書館等に寄贈

11. 月例会 (第 3 土曜日)

実施回数 12 回 (千葉市 4 回 ZOOM 8 回)

参加人員 144 人

第3号議案 2022年度事業計画

◆総会 <事務局>

2月11日(祝)、ZOOM会議によりオンラインで実施する。

千葉市生涯学習センターで実施する準備をしてきたが、コロナ感染状況の広がりからZOOM開催に変更する判断に至った。

◆新型コロナ感染症対応 <事務局>

自然観察会等の実施に際しては、必要とされるコロナ対策はすべて行う。

緊急事態宣言期間中は、一般参加者が対象とした行事は、主催、受託を問わず原則実施しない。

受託事業に関しては、契約にその内容を盛り込む。

1. 昭和の森定例観察会 <山下> 第2日曜日

毎月第2日曜日午前10～12時、7、8月を除いて年10回実施する。

毎回定員は20名程度で計画していますが、まん延防止等重点措置期間は15名とします。

受付は昭和の森事務所(指定管理者) 指導員は2人体制

2022年度は指定管理者と共に、緊急事態宣言が出ない限り、コロナ感染予防を徹底して安全安心な自然観察会を実施します。

2. 昭和の森親子田んぼ教室 <山下>

4月(田植え)、6月(草取り)、9月(稲刈り)の3回実施する。

定員は親子で20名程度 受付は昭和の森事務所(指定管理者)

指導員は3人体制

2022年度は指定管理者と共に、緊急事態宣言が出ない限り、コロナ感染予防を徹底して安全安心な自然観察会を実施します。

3. 昭和の森特別観察会 <川北>

コロナ禍が続く中、例年委託を受けているカタクリ観察会、ゲンジボタル観察会、お正月飾り作り等であるが、協議会の受託の必要性も含めてしっかりと検討し、実施の際のコロナ対応及び実施内容については、昭和の森事務所と十分に協議する。

4. 大草谷津田いきものの里自然観察会関連 <木下・岡田> 第3日曜日

毎月第3日曜日午前10時30分～12時、8月を除いて年11回実施する。

毎回定員は15名、受付は千葉市環境保全課

指導員は3人体制

5. 東葛しぜん観察会 <山口>

東葛の活動は2月から一般観察会を計画しているが、高い感染力のあるオミクロン株による第6波が進んだ場合のコロナ感染症の状況によって 計画は内容変更となることのある前提です。

観察会の開催に当たっては、受付時の検温・体調等の問診・手指消毒・密接の回避を行い、1班は10人以下で 特に観察中のソーシャルディスタンスに配慮し、基本的な感染予防対策の徹底をはかっていきます。パークプロジェクトは 皆さんと協議を重ねての実施計画を立てながら、昨年同様に取り組んでいく考えです。計画の実施に当たっては、状況を見極め、慎重かつ柔軟に対応する前提で進め、担当指導員が参加できない場合は意向を尊重し、担当指導員間で中止の意向がある場合は、開催中止とする考えです。

一般観察会10回(2月中止) 研修会2回、パーク講習会4回、校外学習6回を予定
研修観察会は予定外

6. 行政関連＜事務局＞

千葉市ふれあい観察会(千葉市環境保全課自然保護対策室)

年3回を予定(9～12時)

稲毛海浜公園自然観察会(千葉市美浜公園緑地事務所)

年4回を予定(10～12時)

船橋市自然観察会

年2回程度を予定(詳細未定)

成田市自然観察会(成田市環境計画課)

年4回を予定(9時30分～12時)

緑の募金による自然に親しむ事業(千葉県緑化推進委員会)

3団体を支援予定

7. 研修関係 ＜米澤・中田＞

年2回の開催を予定しているが、コロナ対応の見極めが難しく、詳細は未定である。

オンライン研修を取り入れ、他団体との共催も視野に入れ柔軟に実施する。

8. 企業・団体関連 ＜事務局＞

依頼内容に応じて、実施する。

9. S S N関係 ＜八木・川瀬＞

年間活動予定

コロナ感染状況により先行きは見えないが、学校現場からの要望は引き続き多く、適切な準備を行い期待に応えたい。

10. しおかぜ発行・自然観察ちばHP ＜三嶋＞

編集： 勝股、太田、三嶋、高木 4人

表紙イラスト：梅宮、中田 2人

印刷・発送：東葛G(三嶋)、四街道G(晝間)、昭和の森G(川北) 船橋G(勝股) 4グループ

外注：正文社(千葉市) 印刷、丁合、袋詰などが長時間の室内共同作業となるため、その一部を外注検討。

自然観察ちばHPはpv10万回を超える閲覧で、メルマガや会員の広場も継続掲載の予定

11. 月例会 ＜事務局＞

当面はZOOM会議を原則とし、コロナの状況に応じて千葉市中央コミュニティセンターで実施する。